

高岡市立博物館年報

第 36 号

令和 3 年度

高岡市立博物館

はじめに

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。今年度も多岐にわたる事業を実施しました。

まず展示事業として常設展「高岡ものがたり」(通年開催)では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、常設展内のお宝コーナーでは、4回のミニ展示を順次開催しました。前年度末から7月中旬にかけて開催した館蔵品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途に加え、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介しました(特集展示コーナーでは消防関係資料を展示)。また7月末から開始した特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」では、近代高岡文芸の盟主で俳人・俳画家の筏井竹の門(1871~1925)の書簡や写真、俳句、俳画などの資料を展示し、生誕150年を迎える竹の門の世界を紹介しました〔会期(7月31日~10月10日)を新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休館したため10月31日まで延長開催〕。11月に開催した館蔵品展「仕切書にみる北前船交易 ~堀田家・八坂家文書から~」では、当館収蔵の伏木の有力な廻船問屋・堀田家と八坂家の「仕切書」(北前船主と各地の間屋が商品を売買する際に発行された文書)を通じて北前船交易の一端を紹介しました。2月からの館蔵品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する古い生活道具類「民具」を展示・紹介しました(特集展示コーナーでは「双六・見立番付」を展示/次年度7月10日まで開催)。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座(全3講中2講開催。うち1講は新型コロナウイルス感染症拡大により中止)のほか、当館職員による特別展講演会(1回)や古文書講座(全6講中4講開催。うち2講は新型コロナウイルス感染症拡大により中止)を開催しました。また、「呈茶の会 -博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか-(春・秋)のほか、桜の開花時期にあわせた屋上開放イベント「古城公園展望台」を開催しました。そのほか、講師・委員の派遣協力、番組出演、寄稿、監修等のほか、高岡テクノドームでの博物館サテライトギャラリーも引き続き実施しました。

資料収集・保存活動では、高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関する資料の収集・保存に努めました。

調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組みました。また昨年度に引き続き、国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の重要指定へ向けた当館収蔵の鋳物資料調査のほか、「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究活動も行いました。加えて当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、計958件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があってこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和5年2月

高岡市立博物館
館長 廣瀬 由美子

目次	
I 事業の状況	
1 展示事業	
(1) 常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」	…1
(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」	…1
(3) 特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」	…1
(4) 館蔵品展「仕切書にみる北前船交易 ～堀田家・八坂家文書から～」	…2
(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」	…3
2 教育・普及事業	
(1) 郷土学習講座（全3講のうち2講）	…4
(2) 特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」講演会（全1回）	…6
(3) 展示説明会	…6
(4) 古文書講座「初めての古文書教室」（全6講のうち4講）	…7
(5) ワークショップ等	…7
(6) 刊行物の発行	…8
(7) 団体見学、展示解説対応	…9
(8) 他団体への協力	…9
(9) レファレンス	…14
(10) インターネットによる広報・普及	…14
3 収集・保存活動	
(1) 購入資料	…15
(2) 寄贈資料	…16
(3) 保存活動	…21
4 調査・研究活動	…22
5 高岡市立博物館に親しむ会との連携	…22
II 管理運営の状況	
1 職員名簿	…26
2 歳出予算	…26
3 高岡市立博物館協議会	…26
4 高岡市立博物館条例	…27
5 高岡市立博物館条例施行規則	…28
6 入館者数	…29
7 当館関連記事一覧	…30
III 施設の状況	
1 沿革	…32
2 施設概要	…33
3 利用案内	…35

I 事業の状況

1 展示事業

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により8月18日(水)～9月12日(日)は臨時休館(展示は中止)した。

(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木) [285日間・通年開催]

〔会場〕本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業について、分かりやすい紹介に努めている。「民具コーナー」のほか、「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

<お宝コーナー>

①「旅する高岡」(4月24日～6月27日)

②「彰義隊(隊長洪沢成一郎)副長天野八郎獄中記『斃休録』」(7月3日～9月5日)

③「室崎琴月生誕130年・童謡『夕日』誕生100年記念展」(10月23日～12月26日)

④「加賀藩農政の基本史料「村御印」」(令和4年1月22日～3月21日)

〔展示資料リスト〕(平成19年度年報に掲載)

(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕令和3年4月1日(木)～7月11日(日) [88日間]

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途に加え、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介した。小学校3年の授業単位にも対応した。また特集展示コーナーでは、古い消火器や火消装束等をはじめとした消防関係資料を展示・紹介した(令和3年2月6日より年度をまたいで開催したもの)。

〔展示資料リスト・ポスター・チラシ画像、展示風景〕(令和2年度年報に掲載)

(3) 特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」

⇒会期(7月31日～10月10日)を、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により臨時休館したため10月31日まで延長した。

〔会期〕令和3年7月31日(土)～10月31日(日) ←10月10日(日)← [57日間]

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

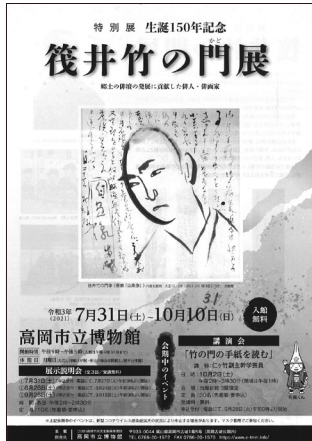
近代高岡文芸の盟主で俳人・俳画家の筏井竹の門(1871～1925)は、郷土の俳壇の発展に貢献し、また俳画や短歌にも優れた近代高岡を代表する文人である。本展では当館収蔵の竹の門の書簡や写真、俳句、俳画などの資料を展示し、生誕150年を迎える竹の門の世界を紹介した。

〔印刷物〕

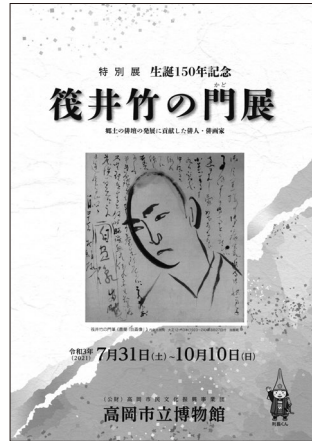
- ・ポスター（B2版、片面1色刷、150枚）
- ・チラシ（A4版、表・裏1色刷、1,500枚）
- ・図録（A4版、1・4色刷、総頁数32、1,000部）

〔展示資料〕計113件163点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



図録



展示風景

（4）館藏品展「^{しきりしょ}仕切書にみる北前船交易 ～堀田家・八坂家文書から～」

〔会期〕令和3年11月20日（土）～令和4年1月10日（月・祝）〔40日間〕

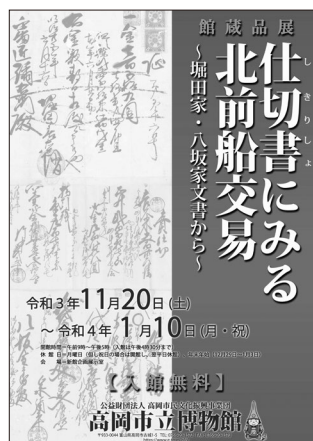
〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

「仕切書」とは北前船主と各地の間屋が商品を売買する際に発行された文書である。本展では当館が所蔵する伏木の有力な廻船問屋・堀田家（鶴屋）と八坂家（車屋）の仕切書を通じて、北前船交易の一端を紹介した。

〔展示資料〕計57件66点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



展示風景

(5) 館藏品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕令和4年2月5日(土)～3月31日(木) [47日間]

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。特集展示コーナーでは、双六・見立番付を展示した。小学校3年の授業单元にも対応した。

〔展示資料〕計61件72点

〔展示資料リスト〕(当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



展示風景

2 教育・普及事業

(1) 郷土学習講座（全3講のうち2講）

郷土の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第3講は開催中止。第1講、第2講は感染予防対策のため定員を30名(当初50名)に設定して開催した。

〔第1講〕「五十嵐^{あつよし}篤好の国学」

日時 令和3年6月26日(土) 午後2時～3時30分

会場 新館3階講堂(以下同)

講師 奥野 美友紀 氏(富山県立大学非常勤講師)

聴講者 28人

要旨 五十嵐^{いがらしあつよし}篤好(1793～1861)は現高岡市内島の代々^{うちじま}十^{とむら}村を務める旧家の9代目として、算学・測量・国学・和歌・言霊学・書道・農政学など様々な分野で多くの功績を残した郷土の偉人である。本講では数多くの功績を残したものの中から、「国学」つまり日本古典への学び、それをふまえて自ら様々な創作・文芸活動を行った篤好像について紹介する。

篤好は文政2年(1819)能登島に流刑となった折に国学と和歌に目覚めた。篤好は奇しくも冤罪とはいえ、流罪となったタイミングで日本古典と向かい合う時間ができ、そのおかげで私たちは篤好の言葉を読むことができる。国学とは古典などの書物を読解・研究することであり、また文法的な知識も伴う学問である。日本古典を学び研究するのみならず、自らが日本古典に出典をもつ古語を用いた和歌・和文の創作、つまり実践をも行うということである。篤好は自らの和歌・文章を、『^{ふすしのやえいそう}臥牛齋詠草』(1820～61年)にまとめている。

篤好と国学との出会いについては晩年自分自身のことを振り返って記した『^{ことだまのあかつき}言霊旅暁』(1860年)に自身の言葉で思いを記している。その言葉は今から160年余前に書かれたものであるが、この篤好の考えや言葉が今に伝えられてきたからこそ、現代の私たちが篤好の言葉を受け止め、思いを馳せることができている。篤好の経験が今を生きる私たち自身の思いにも繋がってくるのである。

また『^{あらた}阿羅多への記』(1839年頃)の中では、篤好自らが文章を推敲している内容がみられる。一見すると記録のように見えるものでも、文章の表現や言葉の選択など合計で3度の加筆・修正がみられる。また「^{ふたがみ}二上山」や「^{せきの}関野」など高岡の地名にも関心を持ち、身近に感じていたことがうかがえる部分もある。篤好のこの表現方法について、和文体で記され、日本古典および江戸時代の和学(国学)研究を踏まえた表現内容が随所にみられる。記憶としての性格にとどまらない篤好の国学者としての知識と感心を反映するものと評価できる。

最後に「五十嵐篤好は郷土の人である」というだけで留めておくには勿体ない人物である。篤好の功績を正しく評価・理解し、それを広く世間に紹介していく必要があると考える。多彩な、という一言では済ませられない人生の厚みもあり、また同時に暖かみもあって人間らしさも兼ね備えていた篤好の数多くの功績が、今後もより広く人々に伝えられていくことを願っている。



奥野美友紀氏

〔第2講〕 「高岡の近代化が^{ほうちやく}逢着した問題
～加賀藩・^{あいたいうけち}相対請地から引き継いだ問題～」

日 時 令和3年8月7日(土) 午後2時～3時30分

講 師 荒木田 岳 氏 (福島大学教授)

聴講者 27人



荒木田岳氏

要 旨 ^{あいたいうけち}相対請地とは高岡などの町が村から借地し、町とした場所のことである。都市への人口集中が進む中で百姓地に町場がはみ出し、本来田畑である場所が宅地が変わっていったのである。地籍は村にあるが戸籍は高岡町にある。高岡では^{しもぜき}下関村から借地してできた宮脇町・新横町がその例である。村や町の範囲と行政区画が一致しない稀有な町、それが高岡だった。

高岡における相対請地の指定については明治前期の高岡町図にその特徴が表れている。高岡の町場とその周りの村から借地してできた請地とが色分けされ、高岡町に編入されたことが地図から読み取れる。当初、相対請地は面で指定したと考えられる。また新横町の土地台帳を調べたところ、村が扱う「郡村宅地」と町場が扱う「市街宅地」とが混在していることも分かった。ほかにも無税地と^{じし}地子地とが入り混じり、家単位で指定したと考えられる事例もみられ、「人を通じた土地の捕捉」が行われていたと推測する。

明治維新後の相対請地処理については「人別は町方、土地は村方」というこれまでの流れを廃止し、政府は相対請地をなくすために動き出す。明治5年(1872)第119号法令では、これまでの「人別は町方、土地は村方」を廃止して村を一つの支配にせよと命じた法令である。本来この法令に基づいて相対請地はなくなるはずだが、高岡の場合は町場と市街地という区分は相対請地に基づいて指定されているので、相対請地の部分が残された。また一方で村と町、両方の力が拮抗していたために明治以降もそれが残ってしまったとも考えられる。

現在の富山県域は明治9年4月から同16年5月まで石川県だった。同12年(1879)に石川県から出された戸籍法令は地籍と戸籍を一致させよという法令である。この法令により大半の地域では相対請地がなくなったが、高岡では処理されず新しくできた富山県で明治後半まで相対請地の問題を引き継いでしまった。行政は町や村の範囲の確定及び地籍・戸籍の一致を志向しており、権力側はどちらかといえば町場に統合という線を模索していたのではないかと考える。

本講における今後の課題としては以下の3点ほどが挙げられる。①明治5年から10年代にかけて高岡町でどのように行政事務が実施されていたか、②地籍と戸籍の一致(=行政区画の一元化)がどのように実現されたか、③相対請地について高岡が特異な行政区画の中で運用がなされた理由である。今後本テーマについての調査・研究を続けていきたい。

【中止】〔第3講〕 「高岡の地名について－命名の意図を読み解く－」

日 程 令和4年2月12日(土)－

講 師 中葉 博文 氏 (日本地名研究所理事)

(2) 特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」講演会（全1回）

演 題 「竹の門の手紙を読む」

日 時 令和3年10月2日(土) 午後2時～3時30分

講 師 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員

聴講者 22人



特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」
講演会

(3) 展示説明会

① 特別展 展示説明会（全3回）

⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第2回は中止した。

〔第1回〕

日 程 7月31日(土)

参加者 9人

【中止】〔第2回〕

日 程 8月28日(土)

〔第3回〕

日 程 9月25日(土)

参加者 10人



特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」
展示説明会

② 館蔵品展 展示説明会（全3回。うち2回は前年度に実施）

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第1回は中止した。

【中止】〔第1回〕

日 程 2月5日(土)

〔第2回〕

日 程 3月12日(土)

参加者 10人

(4) 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講のうち4講)

当館では、高岡に関する古文書を多数収集・保管している。高岡の歴史や古文書に関する市民への理解を深めるため、実施した。全6講の連続講座。受講者累計109人。

⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1講(当初予定9月9日)、第2講(当初予定9月24日)、第3講(当初予定10月21日)、第4講(当初予定11月4日)は日程を延期して開催し、第5講・第6講は中止した。

〔第1講〕

日時 10月21日(木) 午後2時～3時30分(以下同)

会場 新館3階講堂(以下同)

講師 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員(以下同)

受講者 29人



古文書講座「初めての古文書教室」

〔第2講〕

日程 11月4日(木)

受講者 27人

〔第3講〕

日程 12月2日(木)

受講者 26人

〔第4講〕

日程 12月16日(木)

受講者 27人

【中止】〔第5講〕

日程 令和4年2月3日(木)―

【中止】〔第6講〕

日程 令和4年2月17日(木)―



屋上開放

(5) ワークショップ等

①屋上開放「古城公園展望台」(桜の満開時期に合わせて開催)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種屋上イベント(「さくらカフェ」、高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」による歴史解説)は中止した。

日時 4月2日(金)～3日(土) 各日午後1時～3時(※4日は荒天のため中止)

会場 新館屋上

来場者数 327人(2日間4時間の累計)

②「呈茶の会 - 博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか -」（春）

日時 4月10日(土) 午前10時～午後3時
 会場 当館茶室「松聲庵」および掛待合（以下同）
 席主 小嵐 晴美 氏（古儀茶道藪内流）ほか社中
 参加者 71人

③「呈茶の会 - 博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか -」（秋）

日時 11月6日(土) 午前10時～午後3時
 席主 玉木 宗恵 氏（茶道裏千家淡交会高岡支部参与）ほか社中
 参加者 84人



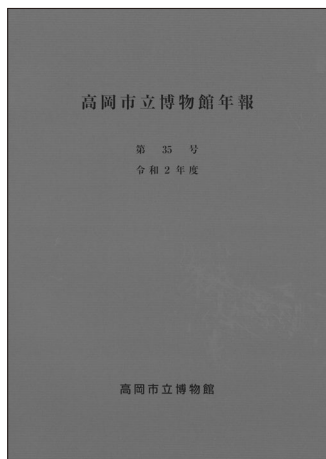
呈茶の会（春）



呈茶の会（秋）

(6) 刊行物の発行

- ・ 特別展「生誕150年記念 篠井竹の門展」図録（A4判、32頁、1,000部）
- ・ 機関誌『博物館だより』第28号（A4判、4頁、3,000部）
- ・ 年報『高岡市立博物館年報』第35号（令和2年度）（A4判、32頁、200部）



『高岡市立博物館年報』第35号



「博物館だより」第28号

(7) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計40件（計1,585人）、うち展示解説10回

〔団体一覧〕

月日	団体名	人数	展示解説
4月7日	クラブツーリズム東京	17人	
9日	クラブツーリズム東京	15人	
5月9日	ボーイスカウト高岡第11団	28人	
12日	高岡市役所新採研修	31人	1回
19日	県民カレッジ	21人	
6月16日	高岡市立太田小学校4年生	7人	1回
18日	富山市立蝸川小学校6年生	129人	
19日	高岡市立横田小学校3年生PTA親子活動	40人	1回
7月7日	富山市立新庄中学校2年生	106人	
17日	野の花会(射水市ボランティアガイドグループ大門地区)	11人	1回
9月24日	高岡市立平米小学校、高岡市立定塚小学校6年生(統合行事の下見)	14人	
10月5日	滑川市立早月中学校1年生	11人	
21日	高岡市立牧野小学校3年生	104人	
22日	富山市立鶴坂小学校6年生	166人	
	富山市立堀川南小学校6年生	28人	
26日	高岡市立西部中学校1年生	58人	
	葵の園なんと	12人	
27日	富山市立山室中学校2年生	5人	
28日	富山市立呉羽中学校1年生	27人	
	高岡市立福岡小学校6年生	100人	

月日	団体名	人数	展示解説
11月3日	ボーイスカウト高岡第21団	17人	
5日	入善町立入善小学校5年生・6年生	85人	
9日	滑川市立滑川中学校2年生	62人	
11日	石川県立生涯学習センター	24人	1回
	黒部市立清明中学校2年生	18人	
	立山町立雄山中学校	21人	
12日	クラブツーリズム(株)	19人	
13日	射水市立大門中学校美術部	25人	
	三協アルミOB歩こう会	46人	
	城廻りの会	10人	
16日	黒部市立明峰中学校1年生	112人	
17日	クラブツーリズム北海道	33人	
	氷見市立南部中学校1年生	16人	
24日	射水市三ヶヘルズボランティア	19人	1回
26日	高岡向陵高等学校2年生	30人	1回
	クラブツーリズム北海道	16人	
28日	石堤校下体育振興会	16人	
30日	高岡市立博労小学校3年生	48人	1回
3月13日	クラブツーリズム 文化庁日本遺産センター	13人	1回
26日	金沢市小坂公民館	25人	1回
	計40件	1,585人	10回

(8) 他団体への協力

① 講師の派遣 計16件

〔講師派遣一覧〕

月日	依頼者 会合名	演題・内容	講師
5月12日、19日	富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター とやま新時代講座「ふるさと散歩」	講義「日本百名城・国指定史跡『高岡城跡』の魅力」 現地研修「『高岡城跡』を歩いて楽しむ」	仁ヶ竹副主幹学芸員
5月18日	高岡ケーブルネットワーク(株) 番組「ちょいたび～わくわく新名所を探そう～」 前田利長公の軌跡をたどる	番組出演者の事前視察で市内の 史跡を案内	仁ヶ竹副主幹学芸員
6月16日	富山県高等学校長協会 令和3年度高岡地区高等学校PTA指導者研修会	講演「国指定史跡・高岡城跡の魅力」	仁ヶ竹副主幹学芸員
9月30日	高岡向陵高等学校 授業「高岡調べ」	講演「歴史都市高岡の魅力」	仁ヶ竹副主幹学芸員
10月10日	高岡市歴史文化推進協議会 子ども高岡城跡たんけんツアー	御旅屋通り・高岡城跡のガイド	仁ヶ竹副主幹学芸員
10月26日	高岡伝統産業青年会 勉強会	講演「高岡鋳物の歴史」	仁ヶ竹副主幹学芸員
11月14日	高岡市立石堤公民館 運営委員会研修会	講演「高峰讓吉と渋沢栄一」	仁ヶ竹副主幹学芸員
11月14日	高岡商工会議所 河野洋平氏(橘慶一郎氏同行)松楓殿「松楓の間」視察	再現展示「松楓殿『松楓の間』」の 視察対応・説明	仁ヶ竹副主幹学芸員
12月8日、22日	(公財)高岡市民文化振興事業団(2件) 令和3年度高岡市生涯学習センター講座「歴 史都市・日本遺産『高岡』の魅力」	「古文書にみる高岡の歴史-町と村の様相-」 「高岡佐渡家出身の幕府奥医師 坪井信良」	仁ヶ竹副主幹学芸員

12月20日	富山県立志貴野高等学校 出前講座	講演「高峰讓吉の偉業」	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和4年1月21日、 2月25日、3月4日	高岡市福岡歴史民俗資料館 古文書講座「古文書から地元の歴史を学ぶ」	古文書講座の講師	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和4年2月15日	高岡市都市経営課 京都外国語大学「高岡市コミュニティ・エン ゲージメント・プログラム」	オンライン講義「高岡の伝統産業 の歴史」	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和4年2月22日	高岡伝統産業青年会 臨時総会	オンライン講演「高岡鑄物(近代 以降)と漆器の歴史」	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和4年3月9日	新風会 3月定例会	講演「古文書にみる勝興寺の歴史」	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和4年3月13日	高岡市日本遺産推進協議会 文化庁・日本遺産周遊促進モデル構築事業モニターツアー	高岡城跡のガイド	仁ヶ竹副主幹学芸員

② 委員の派遣 計7件（うち会合8回）

〔とやま呉西圏域連携推進協議会〕新規連携事業「歴史文化の学び交流事業」連携事業検討会委員
（仁ヶ竹副主幹学芸員）

〔富山県公文書館〕富山県公文書館古文書調査員（平成18年度より継続。仁ヶ竹副主幹学芸員／7月15日）

〔高志の国文学館〕紺綬褒章申請にかかる寄贈資料の価格評価（山本総括主査／8月25日）

〔高岡市教育委員会文化財保護活用課・合同会社AMANE〕「産学官連携に基づいた地域資料継
承支援事業」による高岡市内の古文書等歴史資料の調査員（仁ヶ竹副主幹学芸員／①9月15日
②9月24日 ③10月22日 ④12月9日～10日）

〔高岡市デザイン・工芸センター〕高岡市伝統工芸産業技術保持者等選考委員会委員（山本総括
主査／11月19日）

〔富山市教育委員会〕富山市郷土博物館協議会委員（山本総括主査／令和4年2月7日）

〔砺波市美術館〕寄贈資料の価格評価（山本総括主査／書面評価）

③ 出演 計8件

〔ラジオたかおか〕ラジオ番組『PICK UP! たかおか』出演〔お宝コーナー「旅する高岡」（5月
7日）／宇川主任学芸員〕

〔高岡ケーブルネットワーク(株)／3件〕番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』資料提供・出演〔「シー
ズン18・和菓子編」（第2～4話：5月31日～7月11日）、「シーズン19・地名は語る編」（第1～
4話：9月6日～10月31日）、「シーズン20・意外と知らない大仏編」（第1～4話：令和4年1月10
日～3月6日）／仁ヶ竹副主幹学芸員〕

〔高岡ケーブルネットワーク(株)／3件〕高岡市行政情報番組『もっと！ホット！高岡』出演〔①特
別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」（8月9日～15日）、②館蔵品展「仕切書にみる北前船交
易 ～堀田家・八坂家文書から～」（12月13日～19日）、③館蔵品展「昔の道具とくらし」（令
和4年2月18日～3月6日）／①③宇川主任学芸員、②仁ヶ竹副主幹学芸員〕

〔富山シティエフエム(株)〕ラジオ番組『ライヴィン・アップ!』『電話インタビュー』出演〔お宝コーナー
「室崎琴月生誕130年・童謡『夕日』誕生100年記念展」（11月25日）／宇川主任学芸員〕

④ 監修・制作協力 計3件

制作協力 〔高岡ケーブルネットワーク(株)〕番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン18～20（5
月～令和4年3月）／仁ヶ竹副主幹学芸員（以下同）

監修 〔高岡市教育委員会・(株)アキデザイン〕小学生向けパネル「高峰讓吉博士を知ろう！」

監修 〔高岡市文化創造課〕日本遺産パンフレット「高岡発瓦版：総集編」

⑤ 博物館実習生の受け入れ

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当館での実習は中止し、レポート課題の提出とした。

実習生 2人(富山大学、東京大学)

- 課題 ①「当館の展示の良い点と悪い点について」
②「当館収蔵資料を用いたミニ展示案」

⑥ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」生徒の受け入れ

⇒新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止した。

日程 10月5日(火)～7日(木)

実習生 4人(高岡市立牧野中学校)

⑦ 資料貸出 計4件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	北前船関係資料	12件23点	伏木観光推進センター	於・高岡市伏木北前船資料館【継続】
2	帳場格子、大福帳等	3件3点	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会	於・高岡市土蔵造りのまち資料館【継続】
3	高峰譲吉関係資料、パネル類(当館寄託)	11点	高峰譲吉博士顕彰会	高峰譲吉博士移動資料展(R3.10/16 高岡市立伏木中学校)
4	清都家測量器具等関係資料のうち「勾配板」、「渾発」(3点)	4点	福井県立歴史博物館	令和3年度秋季特別展「景色の歴史をたどる～越前若狭のまちとむら～」(会期：R3.10/15～12/10)

⑧ 写真提供 計37件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	「越中国立山之図」等	3点	株昭文社	『富山のトリセツ』(株昭文社、R3.7/5発行)
2	「機械化された鋳物工場」(大正3年)	1点	株能作	台湾向け銀製品リーフレット(R3.4/21発行)
3	林忠正肖像(個人蔵)	1点	株小学館	吉田あき子著『評伝 渡辺省亭 晴柳の陰に 増補改訂版』(R3.6/30発行)
4	絵葉書「高岡古城公園」等	3点	北陸中日新聞高岡支局	紙面掲載[特集記事「とやま写真館」(R3.6/13付)]
5	藤井能三肖像(個人蔵)、「帆船と蒸気船」(大正13年)等	3点	富山県教育委員会県立学校課	『高校生のためのふるさと富山』(R4.3/31発行)
6	博物館外観、常設展示室2点、渾天儀(江戸後期、市文)	3件4点	株北日本新聞社	北日本新聞情報誌『まんまる』(6月号)(R3.6/10発行)
7	『今庄家秘匿桜霜巻』等	7件18点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン18「和菓子編」第2～4話(R3.5/31～7/11放送)
8	「高岡大都市計画図」(大正12年)、「庄川改良工事平面図」	2点	個人	野村公民館での講演会資料(R3.6/18)
9	高峰譲吉肖像写真(大礼服)	1点	株北日本新聞社	紙面掲載[連載「とやまゼミナール もうすぐ100年宇奈月温泉ものがたり」](R3.7/13発行)]
10	「高岡大仏御面像竣工記念鋳造員」(明治44年)	1点	株北日本新聞社	紙面掲載[松木宗左衛門家跡地での焼き鳥屋開業の記事(R3.6/15付)]
11	「年末詳5月30日付前田利長書状」(駒井中務少輔他一名宛)	1点	高岡市産業振興部観光交流課	高岡御車山会館企画展「鋳物師のまち『金屋町』」(R3.8月上旬～R4.1月下旬)
12	見立番付「加越能古人高名一覧」(明治27年)	1点	個人	調査研究
13	「ピオリア高峰工場」(内部)	1点	富山県教育委員会	『ふるさととやま人物ものがたり』(R3.3/31発行)
14	タカヂアスターゼ薬瓶(昭和23年)	1点	株ニュートンプレス	『くすり大図鑑』(R3.12/15発行)
15	「藤田四郎右衛門・裏掛鋳造所」(『中越商工便覧』/明治21年)	1点	株ジャパネットブロードキャスティング	BSテレビ東京「技をつなぐ。～伝統工芸を守る職人たち～#2」(R3.8/28放送)

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
16	「高岡市及び周辺地図」〔大日本職業別明細図之内 富山県(高岡市・伏木町・新港町・氷見町)(大正14年／部分)〕	1点	山本醸造(株)	『山本醸造(株)創業250年記念誌』(R4年発行)
17	高峰譲吉肖像、松楓殿(外観・内観)写真等	7点	(株)アキデザイン	「高峰譲吉「松楓殿」PRビデオ」(企画制作・高岡市教育委員会、高峰譲吉博士顕彰会)
18	ソーケ(箆)	1点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン19「地名は語る編」第3話(R3.10/4～10/17放送)
19	(株)日本プリント工場(外観)等	12件14点	個人	イベントに使うマップの作成
20	絵葉書「高岡古城公園(本丸で運動会)」(明治40～大正7年頃)	1点	北陸中日新聞高岡支局	紙面掲載〔特集記事「とやま写真館」(R3.10/17付)〕
21	絵葉書「七本杉(稀代の古銘木)」(明治40～大正7年頃)	1点	富山県神社庁 高岡・新湊支部	支部機関紙「万葉の社」(R3.10/17掲載)
22	「金屋町絵図」(享保13年)、「金屋町拝領地絵図」(当館寄託)	2点	個人	卒業論文
23	高岡市内絵葉書等	61件95点	個人	卒業論文
24	「高岡中古之図(部分)」等	4点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン20「意外と知らない大仏編」(R4.1/10～3/6放送)
25	絵葉書「越中伏木港(其二)」(明治40～大正7年頃)	1点	北陸中日新聞高岡支局	紙面掲載〔特集記事「とやま写真館」(R4.1/16又は1/23付)〕
26	詩碑「古城公園」(大橋二水 作)(昭和11年)	1点	個人	『千漢連会報(第34号)』記事「大橋二水の詩碑」(R4.3月末発行)
27	堀川敬周筆「高岡町奉行肖像」(天保11年)	1点	高岡市産業振興部観光交流課	高岡御車山会館企画展「高岡町奉行」(会期：R4.2月上旬～7月下旬)
28	前田利長肖像(『高岡史料』掲載)	1点	NHKエンタープライズ中部 (NHK名古屋)	NHK「おもてなし北陸」(R4.1/28放送)
29	中野双三(個人蔵)、「高岡大仏御面像竣工記念鑄造員」(明治44年／大仏寺蔵)	2点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン20「意外と知らない大仏編」(R4.1/10～3/6放送)及び同番組のYoutube放映
30	高岡彫刻塗「二匹鯛」(明治末～大正期頃)	1点	石川県立歴史博物館	令和4年度石川県立歴史博物館夏季特別展「工芸と教育」展覧会図録に掲載
31	一般用米穀類購入通帳(昭和45年)	1点	国際基督教大学アジア文化研究所	上智大学イスラーム研究センターへ投稿する論文に掲載
32	蝋管蓄音機(エジソン、FIRESIDE Model A)(明治42年)	1点	(株)アズクリエーション	NHKEテレ「クラシックTV」〔「美メロに心躍る！チャイコフスキー」(R4.2/17、24(再放送)放送)NHKプラス配信(期間R4.2/17～24)〕
33	絵葉書「高岡公園中之島ノ春色」(大正7～昭和7年頃発行)	1点	(株)北日本新聞社	紙面掲載(R4.2/27付)
34	絵葉書「高岡小唄一・二」(2葉)(昭和10～19年)、同「桜馬場公園入口」(彩色絵葉書)(大正10～昭和7年)	2件3点	富山新聞社	紙面掲載〔富山新聞連載「記者A」(R4.2/22～24付)〕
35	高岡中古之図(明和元～天明元年頃)	1点	(株)アキデザイン	イベントの配布資料(古地図で巡る下関探訪まち歩き 原八丁道(旧参道)と庄方用水めぐり)(R4.4/2開催)
36	「新案 高岡商店双六」、「商売繁栄双六」	2件2点	東京工業大学	イベントでの展示「サカサカの歴史展示」(於・サカサカ)
37	絵葉書「義経雨晴 其二」(明治40年～大正7年頃)	1点	北陸中日新聞高岡支局	紙面掲載〔特集記事「とやま写真館」(R4.3/13付)〕

⑨ 資料撮影・掲載 計16件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	頼三樹三郎筆 七絶「高岡萬中越古城」	1点	(株)北日本新聞社	紙面掲載「資料収集 ネットオークション活用模索」(R3.5/26付)
2	高杯(須田藤の木遺跡出土)	1点	個人	富山県考古学会「連絡紙」など
3	渋沢栄一書簡、高岡市鳥瞰図リーフレット等	7点	(株)北日本新聞社	北日本新聞情報誌『まんまる』6月号(R3.6/10発行)
4	清都家測量器具等関係資料(富山県指定文化財)のうち勾配板、渾発、目当棹	3点	福井県立歴史博物館	令和3年度秋季特別展「景色の歴史をたどる」開催のための資料借用のための事前調査
5	『二十四輩順拝図会』(享和3年)	1点	個人	調査研究
6	防毒マスク、写真「防毒講習会」(昭和戦中)等	2点	北日本放送(株)	北日本放送「KNB news every (金曜ジャーナル)」特集「伏木にあった毒ガス兵器製造施設」(R3.8/13放送)
7	「高岡市街図」等	8点	高岡市役所都市計画課	地籍調査に関する資料調査
8	二代歌川広重画「諸国六十八景ノ越中青城山」等	9点	高岡市教育委員会文化財保護活用課	守山城跡詳細調査
9	天神画像	1点	(株)京阪神エルマガジン社	JR西日本西 Navi 北陸 12月号「富山の縁起物特集」
10	佐渡家資料(当館寄託)	55点	個人	調査研究
11	写真「旧制高岡中学校校舎」、「御旅屋通り」(昭和26年)	2件3点	朝日放送テレビ(株)	ドキュメンタリー番組「鬼気」(R3.11/19放送)
12	蠟型鑄造作用具(須賀月真工房)のうち陶製型等	37点	奈良文化財研究所	化学研究費補助事業「土製鑄型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築」に伴う調査研究
13	常設展「高峰讓吉コーナー」の展示資料		(株)九転十起	高峰讓吉・浅野総一郎の紹介ビデオ(DVD)
14	新川県営第20大区小4区越中国砺波郡光明寺村地引絵図(明治8年)	1点	個人	地域調査
15	友禅染幔幕に桜文花嫁のれん等	3点	富山大学地域連携戦略室 嘉瀬井恵子氏	越中・加賀に伝わる「嫁のれん」(大正～戦後頃)の調査研究
16	「新版高岡市街地図」(昭和9年)等	3点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』シーズン 21 (R4.5/9～7/3放送)

⑩ その他の協力

- ・ (公財)日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」(平成19年6月2日～)
- ・ 高岡テクノドームへの博物館サテライトギャラリーの実施(平成30年10月1日～)
- ・ 高岡市教育委員会学校教育課「高岡再発見プログラム10」スタンプラリー(4月24日～12月13日)参加者累計1,005人
- ・ 富山くすりフェア実行委員会 令和3年度富山くすりフェア「謎解きイベント」開催による謎解きキット(2種)の設置(7月25日～)
- ・ 高岡商工会議所「藤子・F・不二雄先生のふるさとたかおか スマホdeスタンプラリー2021」QRコード読み込みによるスタンプ設置(9月1日～11月30日)
- ・ 高峰讓吉博士顕彰会「高峰讓吉博士移動資料展」(10月16日:高岡市立伏木中学校)への資料提供・助言
- ・ 高岡市秘書課広報広聴室 博物館常設展「高岡ものがたり」ガイド動画 出演(公開は令和4年度)

(9) レファレンス

高岡の歴史・文化などに関する照会・回答 105件

(10) インターネットによる広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 238,111件
- ・全国の博物館・美術館収蔵資料データベース「文化遺産オンライン」（文化庁運営）への資料情報公開件数 計958件
- ・発行済の館報「博物館だより」（28件）、展示解説「博物館ノート」（10件）のネット公開
- ・当館公式ツイッター（ツイート12,298回、フォロワー1,535人）による広報
- ・当館公式フェイスブック（投稿3,568回、いいね！2,341件）による広報
- ・当館案内リーフレット〔①日本語版 ②英語版 ③中国語（簡体字）版〕の館内配架及びネット公開
- ・当館収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可（平成29年2月4日～）
- ・当館が所蔵（保管）する一括資料目録のネット公開（令和元年11月～）
- ・インターネットミュージアム「ミュージアム 干支コレクションアワード2022 虎」への参加・投票
（開催期間：12月14日～令和4年1月27日）。安川乾清作《鍛鉄地竹虎文金銀象嵌鐙》／当館蔵 全
93作品中6位

3 収集・保存活動

(1) 購入資料 (計61件200点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

No.	資料名称	数量	分類
1	年未詳5月2日付 前田利長・永姫侍女奉書(くすし三ゑもん宛)	1	歴史
2	年未詳7月1日付 前田利長書状(いちかわ・宮井宛)	1	歴史
3	山口花笠筆俳句《稲妻やさと／ひと浴ひる／河原湯に》(明治44年)	1	美術
4	山口花笠書簡(昭和2年8月2日付／清水憲太郎宛)	1	歴史
5	絵葉書「高岡桜馬場公園」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
6	絵葉書「雪の高岡桜馬場公園」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
7	絵葉書(高岡公園・射水神社)(明治40～大正7年頃)	4	歴史
8	絵葉書「義経 雨晴(其一)」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
9	絵葉書「観光高岡 高岡市街より二上山 射水神社 高岡公園」	1	歴史
10	絵葉書「(高岡市)前田利長卿墳墓」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
11	富札(中田駅仕法講)	1	歴史
12	高岡電灯株式会社案内など(昭和10～12年)	2	歴史
13	宣明「銘文言南者講説」・霊咩「一流安心御文講説」(合本／講録写本)(文政13年)	1	歴史
14	「高岡新聞／新年号附録」(昭和10年1月1日付)	1	歴史
15	高岡劇場映画チラシ「KOGEKI NEWS」No.93(昭和14年)	1	民俗
16	工部省布達第13号「石川県高岡町・射水郡新湊伏木村に電信分局設置」(明治12年9月30日付)	1	歴史
17	真巖国常筆《五絶》(江戸後期)	1	美術
18	堀川敬周筆、劉 石秋賛《不動明王図》(江戸後期)	1	美術
19	『伏木町勢一斑』(裏面「伏木町全図」)	1	歴史
20	慶長6年7月21日付 前田利長知行宛行状(中川三左衛門尉宛)	1	歴史
21	『パリ・イリュストレ』合本(第40～61号)(1886～87年)	16	歴史
22	筏井竹の門画《小竹の山図》	1	美術
23	筏井竹の門画賛《水仙図》	1	美術
24	東 東洋筆《樵図》	1	美術
25	堀川敬周筆《絹本彩色山水図》(江戸後期)	1	美術
26	真巖国常筆《五絶》(江戸後期)	1	美術
27	真巖国常筆《観音妙智力》(江戸後期)	1	美術
28	加越能鉄道「高岡軌道線開通30周年記念乗車券」(昭和53年)	1	民俗
29	山口花笠編集発行、越友会発行『守水老遺稿』(昭和16年)	1	歴史
30	高岡文化協会『花笠句抄』(昭和19年)	1	歴史
31	山口花笠筆俳句短冊《噴水の高く風ある若葉かな》	1	美術
32	福井・石川・高岡・富山四市観光連盟『旅は北陸へ』(昭和11年)	1	歴史
33	朝日新聞社『アサヒグラフ』(昭和27年6月4日号)	1	歴史
34	「家伝秘薬之巻」	1	歴史
35	高岡商工会議所『高岡産業案内』(昭和8年)	1	歴史
36	引札「廻船問屋 伏木港松谷八十郎商店回漕部」(明治31年)	1	民俗
37	『高岡湯話』(写本／富田徳風著、大橋十右衛門旧蔵)	1	歴史
38	「伏木河港平面図」	1	歴史
39	土山沢映和歌短冊《鐘声驚(夢) / (結)ふともさめてかひなき夢なりといみなる鐘や驚かしけん》	1	美術

No.	資料名称	数量	分類
40	臨濟宗大本山国泰寺『開山国師略伝』	1	歴史
41	絵葉書「(高岡名勝)新装なれる片原町通り」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
42	絵葉書「(高岡名勝)古城公園の景」(大正7～昭和7年)	1	歴史
43	絵葉書「(高岡)用無し遮断器(大工町踏切所見)」(昭和8～19年)	1	歴史
44	絵葉書「富山県立高岡中学校(講堂/特別教室)」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
45	絵葉書「伏木港(右岸方面ヲ望ム/港外ヨリ望ム)」(明治40～大正7年頃)	1	歴史
46	絵葉書「(越中)伏木港」(明治40～大正7年)	1	歴史
47	絵葉書「伏木工場地帯(一・二)」(大正7～昭和7年)	2	歴史
48	絵葉書「伏木町全景 其一・其二」(大正7～昭和7年)	2	歴史
49	「国幣中社 射水神社絵はがき」(社殿全景/中門/社宝獅子頭築山面)(昭和8～19年)	3	歴史
50	筏井竹の門画賛《人參図》	1	美術
51	筏井竹の門画《藤図》	1	美術
52	『株式会社高岡銀行株主名簿(昭和7年下半年期)』	1	歴史
53	高岡銅器問屋・角羽家文書	(一括)	歴史
54	地券「砺波郡本領八百村」(明治11年9月)	8	歴史
55	絵葉書「皇太子殿下下行啓記念/市立高岡商業高校」(明治42年)	2	歴史
56	絵葉書「(雪の高岡)瑞龍寺(国宝建造物)」(昭和8～19年)	1	歴史
57	絵葉書「(雪の高岡)雪の高岡古城公園」(昭和8～19年)	1	歴史
58	絵葉書「高岡公園八景」(大正7～昭和7年)	8	歴史
59	絵葉書「富山県立高岡高等女学校 創立三十周年記念」(昭和12年)	3	歴史
60	富山県立高岡中学校校友会会報「古城」第29号(昭和10年)	1	歴史
61	「伏木港設置灯台建築費及び点灯費償却の為、入津料取立通達」(明治10年11月9日)	1	歴史

(2) 寄贈資料 (計197件3,187点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	海軍軍衣飛行予科練習生用(冬衣)(昭和戦中)	1	民俗	松本徳次氏
2	堀川敬周筆《貼り交ぜ屏風》(江戸後期)	1	美術	萩原辰義氏
3	軍隊手帳(大正4年製)	1	歴史	
4	銅製火鉢	1	民俗	早川久美子氏
5	オオヒラ(大平)	1	民俗	曾田好隆氏
6	ハナミベントウ(花見弁当)	1	民俗	
7	砺波郡立野村・武中家文書(明治～昭和期)	6	歴史	島 忠男氏
8	高岡漆器盆(昭和40年代)	7	民俗	杉山喜重子氏
9	伏木港平面図(昭和11年)	1	歴史	
10	高岡七本杉の火鉢(昭和初期)	1	民俗	野尻嘉昭氏
11	筏井竹の門筆短冊《水仙の日向に□る猫か来て眠る》	1	美術	小竹大地氏
12	堀川敬周筆《漁礁図屏風》	1	美術	
13	三村石邦年賀状(高岡市岩坪・関口二作宛)(昭和54～55、57～58年)	4	歴史	匿名希望
14	丹緑社展会場写真(昭和11年)	1	歴史	
15	逸見小舫(文綱)『小舫遺稿』(昭和8年)	3	歴史	
16	寺崎蛸洲編『狐の茶袋』初編(文化13年)	1	歴史	
17	『大正十三年陸軍特別大演習記念帖』帝国在郷軍人会高岡市連合分会(大正14年)	1	歴史	
18	木津蛸雪編『竹の門句集』(大正10年)	1	歴史	
19	筏井竹の門筆『靈泉帖』(大正13年)	1	美術	
20	筏井竹の門筆《桜図》(大正8年)	1	美術	
21	筏井竹の門筆《花図》(水張りし田のさゝ波や初夏の雲)(大正期)	1	美術	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
22	筏井竹の門筆俳句書「竹の門／晴間／温泉へ／下りる／清水の／落葉／澄む」(画帖はがし)(明治後期～大正期)	1	美術	匿名希望
23	筏井竹の門短冊(①水仙図(短冊)／②高士観瀑図(短冊)／③俳句短冊「芒穂のみに日の白し山、蔭にして」)(明治後期～大正期)	3	美術	
24	『親鸞聖人事績』高岡横町 川上六郎右衛門他発行(明治14年)	1	歴史	
25	「週刊市民新聞」37号(昭和26年5月20日付)、同2076号(平成5年9月28日付)	2	歴史	狩野 勉氏
26	高岡市利屋町「天満宮雑費明細帳」(大正12～昭和24年)	1	歴史	利屋町
27	「富山県射水郡より氷見郷分割請願書」(明治24年)	1	歴史	匿名希望
28	「富山県砺波郡分割請願書」(明治23年)	1	歴史	
29	「富山県砺波郡分割不可之儀ニ付請願」(明治24年)	1	歴史	
30	絵葉書「グレート高岡」(昭和8～19年)	6	歴史	
31	堀川敬周筆《老松に雀図》(6曲1隻屏風)(江戸後期)	1	美術	
32	ブリキ製米櫃(昭和期)	2	民俗	盛野弘進氏
33	写真「高岡博高級甘納豆直売所(やまや製菓株)」(昭和26年)	1	歴史	山谷泰三氏
34	写真「富山県高岡市皇居奉仕団(高岡横田町校下婦人会)」(昭和期)	4	歴史	
35	通い徳利(昭和戦前)	1	民俗	
36	『躍進 富山県』(高岡新聞社発行／昭和13年)	1	歴史	池田節子氏
37	高岡市問屋町・一ノ瀬銅器下図帳	1	歴史	筏井逸紀氏
38	高岡銅器下図綴(一ノ瀬家・山谷家含む／1冊98枚)	98	歴史	
39	富山県関係絵葉書	45	歴史	加能幸夫氏
40	射水神社感謝状(昭和2年)	1	歴史	
41	射水神社 盃(昭和期)	2	歴史	
42	煙草盆、煙管	5	民俗	
43	箱枕	1	民俗	
44	食肉販売チラシ(呉西プリマ会・徳永食品協賛)	1	民俗	
45	銀秤	1	民俗	
46	花札	47	民俗	
47	「最新版 小倉百人一首」(昭和期)	200	民俗	
48	第13回国体記章(昭和33年)	1	民俗	
49	筏井竹の門等短冊、色紙(筏井竹の門／小川千甕／本郷越嶺など)	18	美術	匿名希望
50	「週刊市民新聞」2076号(平成5年9月26日付)	1	歴史	
51	『大日本国防婦人会指導指針』	1	歴史	宗玄俊一氏
52	「大日本国防婦人会 高岡市下関校下分会」の旗(昭和戦中)	1	歴史	
53	『樹層』5月号、樹層社(大坪晶一編集・発行)(大正15年)	1	歴史	木村玉喜氏
54	林五郎兵衛『算学稽古記』(昭和28年復刻)	1	歴史	
55	「北日本新聞」(昭和20年7月21日付)※「B29 愈々裏日本頻襲の兆／福井百十機で暴爆／富山市にも初の投弾」	1	歴史	
56	高岡高校演劇部公演リーフレット、演出・木村三雄教諭の演出ノート、記念写真(昭和25～26年頃)	1	歴史	
57	煙草盆	1	民俗	
58	煙草入	1	民俗	
59	鼈甲櫛	1	民俗	
60	今井雲峰(仁成)製作「青貝塗 小盆」(橘、雁金、花)	3	民俗	
61	今井雲峰(仁成)製作「青貝塗 ハイヒールのヒール」(半製品／輸出用)	1	民俗	
62	堀川敬周画《東帯天神座像》(江戸後期)	1	美術	
63	筏井竹の門画《たんぼぼ》(大正期)	1	美術	
64	大橋二水筆《一行書》(大正期)	2	美術	
65	大橋二水筆《七絶》(大正期)	1	美術	
66	今井雲峰(仁成)《青貝塗 山水楼閣文盆》	1	美術	
67	今井雲峰(仁成)《青貝塗 山水楼閣文パネル》(昭和～平成期)	1	美術	
68	今井雲峰(仁成)《青貝塗 山水楼閣文木の輪切花台》	1	美術	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
69	玩具類(昭和期)	(一括)	民俗	匿名希望
70	配置業箱(昭和期)	1	民俗	
71	「飛見式ガーゼ抑」(昭和20年代後半～30年代)	1	民俗	
72	吸入器(箱付)	1	民俗	
73	グローブ(野球用)、ボール(野球用)、ボール(テニス用)、卓球ラケット(ケース入)	6	民俗	
74	教科書類(和本)(明治期)	12	民俗	石田繁喜氏
75	棹秤	1	民俗	
76	仏教関係等書籍	(一括)	歴史	西光寺・寺野宗順氏
77	列車時刻表〔北日本新聞(昭和57年6月20日付)掲載分〕	2	歴史	江畑聿英氏
78	高岡市仲町自治会一覧表(昭和58年4月1日現在)	1	歴史	
79	高岡市本町・江畑家民俗資料	52	民俗	
80	弔辞	11	歴史	小泉昇仙氏
81	軍事郵便	(一括)	歴史	
82	古銭	(一括)	歴史	
83	菊に桐文鉄釜(嘉永3年)	1	民俗	谷道和子氏
84	「ありがとう、加越能電車」記念乗車券(平成14年)	3	民俗	匿名希望
85	加越能鉄道株式会社電車・バス共通回数乗車券(平成14年)	1	民俗	
86	富山地鉄「おわかれ記念乗車券」(昭和47年)	3	民俗	
87	「さよなら特急白鳥号」オレンジカード(平成13年)	2	民俗	
88	富山地鉄富山港線普通入場券(平成18年)	10	民俗	
89	万葉線電車開業1周年記念100円切符綴(平成15年)	11	民俗	
90	中村与三市宛教員辞令	22	歴史	
91	満洲重工業開発(株)等株券類	44	歴史	島 寿男氏
92	北陸鉄道片山津線切符(国鉄伏木駅より片山津ゆき)(昭和39年)	1	民俗	
93	第十三回国民体育大会(富山)入場券(野球・体操・陸上)(昭和33年)	3	歴史	
94	ホーロー看板「オロナイン軟膏」(浪花千栄子)(昭和後期)	1	民俗	米谷竹弘氏
95	五十嵐篤好著『地方新器測量法』(写本)(明治8年写)	1	歴史	
96	一如筆『御文』(版本)(江戸中期)	1	民俗	匿名希望
97	和田新町 家屋敷売買証文綴(江戸期)	14	歴史	
98	年賀状等書簡	10	歴史	
99	高岡市立平米町尋常高等小学校卒業証書類、通信簿等	18	歴史	
100	日記(大正7年)	1	歴史	
101	『立太子礼』(松本善一筆)(大正5年)	1	歴史	
102	写真「陸軍戦闘機 愛国第2038号(第一北陸配電)」	2	歴史	
103	高岡市堀上町 町内旗・副旗(昭和12年)	2	歴史	
104	神宮参拜武運長久祈願記念標章(昭和14年)	2	歴史	
105	日の丸手旗(昭和戦中)	6	歴史	
106	戦時下アルバム	1	歴史	匿名希望
107	高岡商業高校卒業アルバム『双龍』(昭和10年)	1	歴史	
108	ボウシ	1	民俗	
109	ミシン(箱付)	1	民俗	
110	襷(①「日の丸部隊・水野富士子」②小馬出町家庭防空団)」(昭和戦中)	2	民俗	
111	防空頭巾・手袋(昭和戦中)	2	民俗	
112	防毒マスク(昭和戦中)	1	民俗	
113	一升徳利	2	民俗	
114	天皇・常陸宮より賜った煙草(箱付)	8	民俗	
115	弁当箱(木製)	1	民俗	
116	糊通し(モンドオシ)	1	民俗	
117	かせ車	1	民俗	
118	ザクリキ(糸巻機)	1	民俗	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
119	桶(麻糸用)	1	民俗	匿名希望
120	図囊(昭和戦中)	1	民俗	
121	壁掛け電話機	1	民俗	
122	電話交換機	1	民俗	
123	『小学国語読本』など教科書類	24	民俗	
124	「教育ノ任ニ在ル者ニ対シ給ヘル勅語」	1	民俗	
125	「小学教育者ニ下シ給ヘル勅語」	1	民俗	
126	蓄音機	1	民俗	高畑一男氏
127	富山県知事・町村金五筆 色紙「保険貯蓄報国」	1	歴史	
128	青貝塗唐山水平卓(昭和46年)	1	美術	
129	青貝塗梅に鶯文茶櫃(昭和55年頃)	1	美術	
130	彫刻塗柿文彩色文庫(昭和40年代)	1	美術	
131	三重ね塗研出箱(昭和58年頃)	1	美術	
132	彫刻塗花菱文菓子器	1	美術	
133	蒔絵蘭文面付文庫(平成初頭)	1	美術	
134	彫刻塗皆朱ダルマ文硯箱	1	美術	
135	彫刻塗柿文彩色飾り(昭和38年)	1	美術	
136	高岡市源平町・本保吉次郎筆 御神輿図(下図)(近代)	1	歴史	小竹大地氏
137	帳簿類(「高岡駄賃帳」「大福帳」「指引帳」「当座帳」等)(明治～昭和期)	11	歴史	一ノ谷嘉行氏
138	筏井竹の門、沢田沢楼等 屏風、短冊、掛軸など	(一括)	美術	澤田和夫・澤田俊子氏
139	高田友吉作 焼印(昭和初期)	17	民俗	高田昇一氏
140	高田友吉作 鯛アルミ型(昭和初期)	4	民俗	
141	高田友吉作 菓子金型(昭和初期)	2	民俗	
142	上川原町母衣祭礼用具	57	民俗	上川原町自治会
143	射水郡源分・村本家文書	(一括)	歴史	村本民則氏
144	砺波郡中田町・土倉家絵図(江戸期～昭和10年)	22	歴史	土倉一郎氏
145	「庄川改修費増額要請陳情書」(昭和29～30年)	6	歴史	
146	『諸約変化術解』(安政2年)	1	歴史	石田小一郎氏
147	『詩経』(上)	1	歴史	
148	射水郡赤祖父村文書	約500点	歴史	下関村史料研究会 会長・中林徹雄氏
149	射水郡京田村文書(江戸～大正期)	6	歴史	京田自治会
150	高岡彫刻塗 鯛菓子器(大正～昭和戦前)	1	民俗	野尻嘉昭氏
151	(相撲絵) 3代歌川豊国画《階ヶ嶽龍右衛門》(弘化4～安政4年頃)	2	美術	柳澤一夫氏
152	射水郡赤埴(赤祖父)村村御印(寛文10年)	1	歴史	赤祖父土地総代
153	堀川敬周筆《絹本著色寿老人図》	1	美術	匿名希望
154	堀川敬周筆《紙本淡彩祀官芋蝗図》(対幅)	2	美術	
155	東東洋筆《七絶》(為堀川敬周、マクリ)	1	美術	
156	3代歌川豊国画《八戸 階ヶ嶽竜右衛門》(弘化4～嘉永5年頃)(錦絵)	1	美術	
157	真巖国常筆《七絶》(江戸後期)	1	美術	
158	高岡名勝絵葉書(古城公園燕子花、同記念碑/大正7～昭和7年頃)	2	歴史	
159	『高岡要覧』(昭和3年)	1	歴史	
160	山口花笠俳句短冊《門内にある錦木や菊日和》	1	美術	
161	写真「明治29年千保川大洪水、中島町の惨状」	1	歴史	
162	大塚楽堂作《鑄銅明治天皇胸像》(原題「明治天皇御影像」)	1	美術	
163	砺波郡境村文書	9	歴史	境自治会
164	射水郡野村・野村新村文書(江戸～昭和期)	(一括)	歴史	坪田孝弘氏
165	民具(農具等)(近代以降)	14	民俗	
166	越井栄山作《鑄銅置物「住吉」》(昭和後期)	2	美術	竹鼻ともみ氏
167	越井栄山作《鑄銅置物「座牛」》(昭和後期)	1	美術	
168	佐野宏采作《鑄銅香炉》	1	美術	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
169	十條製紙(株)記念品(朱塗牡丹沈金彫二段重)(昭和25年)	1	民俗	竹鼻ともみ氏
170	十條製紙(株)記念品(会津塗御吸物椀)(昭和39年)	5	民俗	
171	十條製紙(株)記念品(銀盃)(昭和48年)	3	民俗	
172	小勢村公文書(辞令、表彰状、成績表、軍人の日記、教科書類、絵葉書、電報のリーフレット類等)	250	歴史	藤本雅寿氏
173	和歌短冊(3・4代八坂金平等)	24	美術	松野 央氏
174	重願寺土地・建築・宗教法人関係資料	7	歴史	坂井貞昭氏
175	鑿子(けいす／きんす)	2	民俗	
176	高岡商店チラシ	2	民俗	
177	高岡漆器盆(各種)	8	民俗	
178	高岡市・富山県等地図類(昭和～平成初期)	28	歴史	匿名希望
179	佐竹 清版画絵葉書「高岡八景」(昭和59年)	8	歴史	
180	油谷幸次郎氏宛日の丸寄せ書き、写真、従軍記章・勲章類	30	歴史	
181	富田宗治郎鑄造所文書	(一括)	歴史	富田貴久氏
182	富田宗治郎鑄造所製造用具	(一括)	民俗	
183	襖の下張文書(高岡市域、射水郡関係／近世)	(一括)	歴史	佐伯裕之氏
184	射水郡牧野村史料・地図	(一括)	歴史	匿名希望
185	『春夏秋冬』全4巻(明治34年～36年)	4	歴史	
186	『ほとゝぎす』第3巻第7号(明治33年)	1	歴史	
187	『ホト、ギス』第9巻第1号(明治38年)	1	歴史	
188	『ホト、ギス』第11巻第3号(明治40年)	1	歴史	
189	絵葉書「筏井竹の門 作品展覧会」(大正7～昭和7年)	9	歴史	
190	吉野臥城監修『明治百人十句』(昭文堂発行／明治43年)	1	歴史	
191	大熊長次郎著『歌集 蘭奢待』(筏井竹の門口絵／大正14年)	1	歴史	
192	『懸葵』5月号、第23巻第5号(筏井竹の門追悼号／大正15年)	1	歴史	
193	『燃生』第5～11号(大正10年)	7	歴史	
194	高岡等マツチラベルスクラブ帳(昭和期)	2	民俗	立浪重建氏
195	銀匙(金銀象嵌。1点は網匙)	2	歴史	今井昭次氏
196	射水郡荻布村宮野家文書(江戸～昭和期)	(一括)	歴史	宮野宗雄氏
197	陸軍歩兵伍長・佐野正吉氏関係資料(昭和期)	(一括)	歴史	佐野吉宏氏

収蔵資料分類一覧表

資料別大分類			区分	件数	点数
I 歴史資料	1,118件	12,861点	1. 歴史資料	1,118件	12,861点
II 民俗資料	1,143件	7,966点	1. 衣食住 2. 交通 運輸 通信 3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等 4. 人生儀礼 5. 交易 6. 民俗知識 7. 年中行事 8. 社会生活 9. 信仰	499件 62件 223件 26件 107件 151件 28件 33件 14件	3,918点 108点 2,133点 62点 320点 892点 446点 60点 27点
III 産業資料	475件	8,212点	生産 生業資料	475件	8,212点
IV 美術資料	609点	1,081点	1. 金工 2. 漆芸 3. 陶芸 4. 木竹石工 5. 染織 6. 日本画 7. 洋画・版画 8. 彫刻 9. 書	90件 106件 53件 4件 5件 157件 46件 22件 126件	112点 189点 101点 28点 5点 298点 124点 23点 201点
総計	3,345件	30,120点		3,345件	30,120点

※平成29年度受け入れ分より、一括資料を100点として計上。

(令和4年3月末現在)

(3) 保存活動

展示室・収蔵庫等の温湿度管理、裏打・軸装、桐箱作成、中性紙封筒・箱での保存、収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸等

4 調査・研究活動

- (1) 収蔵資料及び未調査資料の調査整理（調査・整理・登録・撮影・データベース化等）
- (2) 収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
- (3) 今後の企画展（特別展・館蔵品展等）、常設展にかかる調査研究
- (4) 国登録有形民俗文化財「高岡鋳物の製作道具及び製品」の国指定重要有形民俗文化財指定にかかる当館収蔵鋳物資料の調査
- (5) 収蔵資料情報のデジタル化による資料管理（デジタル・アーカイブの推進）
- (6) 「産学官連携に基づいた地域資料継承支援事業」による高岡市伏木地区の古文書等歴史資料の調査研究
- (7) その他の調査・研究
- (8) 各種研究会・研修会、講座等への参加 計4件
 - ・〔富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会〕総会・講演会（5月20日）
 - ・〔日本博物館協会〕令和3年度全国博物館長会議（6月1日／オンライン）
 - ・〔富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会〕令和3年度行政文書実務担当者研修会（11月18日）
 - ・〔北前船日本遺産推進協議会〕令和3年度北前船日本遺産推進協議会学芸員セミナー（令和4年2月24日／オンライン）

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

○会員数 258人（一般243人246口、賛助15人16口）

・総会（参加者計23人）

日 時 4月21日（水） 午後1時30分～

会 場 新館3階講堂

内 容 令和2年度事業報告、収支決算報告ならびに令和3年度事業計画（案）、収支予算（案）、役員
の改選など

◇講演会

演 題 「高岡と能美 -ながめてみよう両市の歴史-」

講 師 鎌田 康平 氏（能美ふるさとミュージアム学芸員）

・広報部会（計5回）

日 程 5月28日（金）、6月24日（木）、8月3日（火）、11月9日（火）、令和4年2月22日（火）（書面）

・ワークショップ部会

日 程 12月26日（金）

・研修部会

日 程 令和4年2月24日(木)(書面)

・役員会

日 程 令和4年3月17日(木)

[事業]

・郷土史を訪ねて①「歩く博物館～1万歩ウォークでふるさと再発見～」(全4回/参加者累計49人)

⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、第31・32回は日程を延期して開催した。

座学「GW(ゴールデンウィーク)に、主に県西部のお祭りを堪能する」

日 時 5月19日(水) 午前10時～ 参加者15人

講 師 樽谷 雅好 氏(同会研修部会長。高岡市児童文化協会副会長。以下同)

第30回「伏木往來を半分ほど(米島→江尻)歩く」(万葉線・徒歩)

日 時 6月10日(木) 午前10時～ 参加者14人

第31回「一駅分歩いて、上水道の歴史を眺める」(鉄道・徒歩)

日 時 10月13日(水) ←9月15日(水) 午前10時～ 参加者9人

第32回「成美校下の『路地』を2時間で…歩いて魅(み)る」(バス・徒歩)

日 時 10月27日(水) ←10月13日(水) 午前10時～ 参加者11人

・郷土史を訪ねて②「走る博物館～還暦すぎの修学旅行～」

⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は実施せず。



第31回 歩く博物館
「一駅分歩いて、上水道の歴史を眺める」



第32回 歩く博物館
「成美校下の『路地』を2時間で…歩いて魅(み)る」

・「呈茶席」(全て土曜日。全8回/参加者累計221人)

⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月25日分は日程を延期して開催した。

日 時 4月17日、4月24日、5月15日、5月22日、
10月9日、10月16日、10月23日、10月30日 ←9月25日

各日午前11時～午後3時

会 場 当館茶室「松聲庵」および掛待合

協力 小嵐 晴美 氏 (同会ワークショップ部会長。古儀茶道藪内流教授) ほか



呈茶席

・「版画講座 -木版画で年賀状を作ろう-」(参加者各5人)

日時 11月11日、11月24日 各日午後1時30分～午後3時

会場 新館3階講堂

協力 水上 悦子 氏 (木版画講師)



版画講座



・「高岡古文書ボランティア」<平成27年4月設立> (原則第3土曜日。全9回／参加者累計48人)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月～9月と令和4年2月は中止した。

日時 【中止】8月21日、9月18日、令和4年2月19日

(本年度通算66回～74回) 4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、10月16日、11月20日、12月18日、

令和4年1月22日、3月19日 各日午後2時～午後3時30分

会場 新館第2企画展示室



古文書ボランティア

〔ボランティア活動協力〕

・歩く博物館、呈茶席8回 のべ19人

〔広報誌「鍛冶丸」発行〕

第15号 (A4版、600部)

〔クリアファイル作成〕 (A4版、各500枚)

・引札「諸廻船問屋 越中伏木港 堀田善右衛門」

・「高岡中古之図」と今

〔ミュージアムショップの運営〕

・オリジナルグッズ (トートバッグ、クリアファイル) の制作と販売

・ドラえもんグッズ、郷土史関連図書・図録等の販売

〔役員名簿〕

役職	氏名	所属	備考
会 長	太田 久夫	前富山県郷土史会会長	
副会長	多田 慎一	裏千家淡交会高岡支部副支部長	
	神保 成伍	元高岡市立博物館館長	企画運営委員長
	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長	
理 事	荒俣 勝行	美術コレクター	
	大菅 洋介	高岡商工会議所青年部理事	
	岡田 有弘	岡田美術店	
	小嵐 晴美	古儀茶道藪内流教授	ワークショップ部会長
	近藤 昭美	茶道裏千家淡交会名誉師範	
	清水 静子	観光ガイドボランティアグループ「あいの風」	
	樽谷 雅好	公益財団法人 高岡市民文化振興事業団評議員	研修部会長
	西 範子	茶道裏千家淡交会教授	
	般若慎一郎	金屋町まちづくり協議会会長	広報部会長
	本保 澄雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」	
	水上 悦子	木版画講師	
監 事	宇波真一郎	高岡古城ライオンズクラブ	
	中尾 光博	高岡市中田地区教育振興会会長	

(敬称略・五十音順。任期：令和3～4年度)

II 管理運営の状況

1 職員名簿

職名	氏名	任用
館長	廣瀬 由美子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
副主幹学芸員	仁ヶ竹 亮介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
総括主査	山本 成子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
主任学芸員	宇川 恵里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学芸員補	伊東 梨愛	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（～6月）
学芸員補	北野 晶子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学芸員補	川幡 孝治	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（4月～8月）
学芸員補	鹿本 航汰	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（8月～）
学芸員補	平 佳明	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（9月～）
学芸員補	山口 貴子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員（10月～）

※受付員：島寿男、山田早苗、武部千代子、森朝子、林洋子（10月～）

2 歳出予算（令和3年度事業別）

（単位：千円）

	事業名	前年度	本年度	差異
管理費	施設管理費	11,584	11,584	0
	人件費（事業団職員分のみ）	20,264	19,864	△400
	小計	31,848	31,448	△400
事業費	調査研究費	368	357	△11
	講演講習会費	362	362	0
	資料整備保存費	4,310	4,646	336
	特別展	888	951	63
	常設展（館藏品等含む）	1,416	1,415	△1
	小計	7,344	7,731	387
合計		39,192	39,179	△13

3 高岡市立博物館協議会

職名	氏名	任用
学識経験者	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長
	日和 祐樹	高岡市文化財審議会会長
	中葉 博文	富山県立大門高等学校再任用教員
	橋本 卓尚	高岡商工会議所青年部観光委員会委員長
学校教育	山口 ひろみ	高岡市小学校長会代表（高岡市立古府小学校長）
	寺田 恵	高岡市中学校長会代表（高岡市立国吉義務教育学校長）
	寫田 豊	高岡地区高等学校長会代表（高岡南高等学校長）
社会教育	山口 敏雄	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	柴田 治之	伝統工芸高岡漆器協同組合理事長
	本保 澄雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」会計
	米澤 陽子	地域女性ネット高岡会長
	窪田 豪	高岡市PTA連絡協議会副会長

〔敬称略・順不同。任期2年（令和4年2月1日～令和6年1月31日）〕

4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日
条 例 第206号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)に基づき、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 高岡市立博物館
位置 高岡市古城1番5号

(事業)

第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。

(博物館協議会)

第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。

2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第4条の2 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせる。

(指定管理者が行う業務)

第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 事業の実施に関する業務
- (2) 利用の許可に関する業務
- (3) 利用に係る料金の收受及び決定に関する業務
- (4) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務

(開館時間)

第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)として納める観覧料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て別に定める。

3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。

(施設の利用)

第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。い。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 企画展示室(展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。)

(2) 茶室

(利用の制限)

第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) その利用が博物館の目的に適しないと認めるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。

(入館の制限)

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者

(施設利用料)

第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。

2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。

(施設利用料の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。

(施設利用料の不還付)

第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付す

ることができる。

(利用料金の収入)

第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(損害賠償)

第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定

によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料	
企画展示室	1日につき	9,900円
茶 室	1日につき	4,400円

備考

1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。

2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。

3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

5 高岡市立博物館条例施行規則

平成17年11月1日

教育委員会規則第39号

(趣旨)

第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(協議会の組織)

第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。

(議事)

第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(利用許可の申請)

第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(利用の許可)

第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館に関する規則(昭和45年高岡市教育委員会規則第6号)の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日教委規則第61号)

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

(利用許可の取りやめ及び変更)

第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(施設利用料の減免)

第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて高岡市教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。

(施設利用料の還付)

第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。

(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき全額を還付する。

(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなったとき 全額を還付する。

(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき8割相当額を還付する。

(補則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

別表(第8条関係)

企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

6 入館者数（「小人」は中学生以下。単位：人）

①常設展「高岡ものがたり -楽しく知ろう!ひらめき・ミュージアム-」

会期：4月1日（木）～令和4年3月31日（木）（開催日数285日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
8,553	1,953	6,803	1,726	19,035

②館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：4月1日（木）～7月11日（日）（開催日数88日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,881	680	2,400	617	6,578

③特別展「生誕150年記念 筏井竹の門展」

会期：7月31日（土）～10月31日（日）（開催日数57日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,073	634	1,642	575	4,924

④館蔵品展「仕切書にみる北前船交易 ～堀田家・八坂家文書から～」

会期：11月20日（土）～令和4年1月10日（月・祝）（開催日数40日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,096	141	847	120	2,204

⑤館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：令和4年2月5日（土）～3月31日（木）（開催日数47日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,012	118	753	84	1,967

総計（開催延日数517日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
15,615	3,526	12,445	3,122	34,708

過去5年間の入館者数

H28	H29	H30	H31/R1	R2
40,923	49,638	58,048	63,367	33,960

7 当館関連記事一覧

(令和3年)

- 4月 4日 北日本新聞「博物館屋上 開放」
4月 4日 富山新聞「サクラ広がる絶景満喫」
4月11日 富山新聞「呈茶の会で一服堪能／高岡市立博物館」
4月11日 北日本新聞「心尽くしの一服／高岡市立博物館で茶会」
4月16日 北陸中日新聞「火消し道具の歴史紹介／高岡市立博物館 江戸－昭和初期の品」
4月22日 富山新聞「歩く博物館を実施／高岡・親しむ会総会」
4月23日 北日本新聞「クリアファイル 利長書状デザイン／市立博物館に親しむ会」
4月25日 富山新聞「勝興寺最古の絵図公開／建立当初の伽藍伝える／江戸後期制作の巡礼案内書／高岡市立博物館」
4月25日 北日本新聞「お宝資料で旅行気分／市立博物館」
4月29日 富山新聞「地域ニュース／60年前の市民新聞見つかる／高岡で発行、市立博物館に寄贈」
5月 3日 北日本新聞「文化ワイド／この人に聞きたい／渋沢栄一の人生に学ぶ／企業の存続 理念不可欠／常に公益が最優先／人々のために働く」
5月 9日 北日本新聞「高岡初代町奉行の父 有賀直政／江戸期 国泰寺で250回忌／開催す木札確認」
5月 9日 北陸中日新聞「昔の高岡を旅気分／市博物館 旅関連資料を展示」
5月13日 北日本新聞「高岡城跡 魅力PR／多言語リーフレット作る／市日本遺産協」
5月13日 富山新聞「「難攻不落」漫画で発信／高岡城跡のリーフレット作製」
5月20日 富山新聞「高岡城跡歩き 魅力を再発見／県民カレッジ講座」
5月25日 読売新聞「色づく記憶 あの日 あの世界上／9階建てのあのビル／高岡駅周辺(富山)」
5月26日 北日本新聞「富山ゆかり 発見相次ぐ／史料収集ネットオークション活用模索／公立博物館 落札に高いハードル」
6月 1日 読売新聞「昔の高岡 伝える新聞／1959年発行の19号「高度成長期前 貴重」／博物館寄贈品から発見」
6月11日 富山新聞「ほたるいか」(歩く博物館「伏木往来を半分ほど(米島→江尻)歩く」)
6月13日 北陸中日新聞「とやま写真館／⑩高岡・末広町通り(1907～18年)／巨大な霊木 道に鎮座」
6月20日 北日本新聞「彰義隊 獄中記を公開／副長天野がつづる嘆き／高岡市立博物館 来月3日から／市内在住の子孫所蔵」
6月25日 北日本新聞「昔ながらの生活用品紹介／市立博物館」
6月25日 北日本新聞「郷土学習講座 あすから開講／高岡市立博物館」
6月27日 富山新聞「江戸期の偉人 五十嵐篤好学ぶ／高岡で郷土学習講座」
7月 3日 富山新聞「天野の手記に見入る／「彰義隊副長」高岡市立博物館で展示」
7月 7日 北日本新聞「ウィークリー西部／貴重な資料 後世に／高岡市立博物館 古文書の寄贈増加／ボランティア 整理に協力」
7月13日 北日本新聞「とやまゼミナール2021／もうすぐ100年 宇奈月温泉ものがたり①／桃原の台地 切り開く」
7月21日 北日本新聞「彰義隊の副長 天野八郎の獄中記公開／市立博物館 市内の子孫所蔵」
7月29日 北日本新聞「高岡城跡を探検しよう！／来月8日 ツアー参加者募集」
8月 4日 北日本新聞「歴史資料 継承へタッグ／高岡市と国立歴史民俗博物館・AMANE(金沢)／まちづくりにも活用」
8月 5日 北日本新聞「俳人・筏井竹の門 生誕150年記念／ゆかりの資料200点／市立博物館で特別展」
8月 8日 富山新聞「自由研究を学芸員が支援／高岡市立博物館」
8月 9日 北日本新聞「ARで高岡史跡探検／ツアーは大雨で延期」
8月15日 富山新聞「日中戦争の遺品寄贈／高岡市立博物館に松郷さん遺族／日の丸の寄せ書き、たすき…」
8月15日 北日本新聞「戦時下の遺品 後世に／日中戦争で戦死 松郷さんの遺族／寄せ書きやたすき 高岡市立博物館に寄贈」
8月17日 北日本新聞「県内ステージ3 公共施設など休館／172ヵ所 きょう公表 高岡市」
8月17日 富山新聞「地域ニュース／高岡、172施設を休館」
8月20日 北日本新聞「貴重な「市民新聞」寄贈／昭和26年発行／高岡の狩野さん 市立博物館に／戦後の世相伝える」
8月20日 北陸中日新聞「戦死の伯父遺品 伝承を／高岡ゆかり松郷さん寄贈／市立博物館、出征襷など32点」
8月25日 富山新聞「くらしの日記／竹の門展 山田 美智子 77歳」
8月31日 北日本新聞「藤子・Fさん ゆかりの地／あすからスタンプラリー／商議所9ヵ所にパネル設置」
9月 3日 北日本新聞「高岡3寺院 観光でタッグ／ツアー企画 文化発信／背景に若者の寺離れ」
9月 4日 富山新聞「高岡高陵新聞／高陵中・定塚小周辺／桜馬場、利長坊 逸話多く／高岡の歴史、奥深さ凝縮」
9月 9日 北陸中日新聞「1950～93年に発行 高岡の週刊市民新聞／70年前の未保管紙面 入手／市博物館「歴史の実態や裏側分かる」」
9月11日 北日本新聞「公共施設 13日以降再開／県内自治体 休館続く所も」
9月11日 富山新聞「まん延防止解除で県内自治体／13日から一部施設開業」
9月12日 北日本新聞「社説／産学官で地域資料継承／市民の理解と情報が鍵」
9月20日 北陸中日新聞「俳壇の発展に尽力 筏井竹の門 知って／高岡市立博物館で企画展」
9月21日 北日本新聞「今と異なる天神祭／高岡 利屋町／昭和初期の帳簿寄贈／市立博物館「貴重な資料」」
9月24日 富山新聞「大正昭和の天神祭克明／余興 窓壊れるほど盛況」／高岡・利屋の明細帳／市博物館に寄贈 当時知る貴重資料」
9月27日 富山新聞「「竹の門展」夫婦で堪能／樋爪 郁 67歳」
10月 1日 北日本新聞「歴史都市高岡を深掘り／高岡向陵高2年生 郷土学習2年目／多く残る文化遺産」
10月 7日 富山新聞「「歴史都市・高岡」生徒が魅力に触れ／高岡向陵高で探求学習」
10月12日 北日本新聞「高岡城跡 魅力に触れる／小学生ら「たんけんツアー」」
10月14日 富山新聞「上水道の歴史学ぶ」
10月14日 北陸中日新聞「戦争乗り越え 祭祀後世に／高岡市立博物館／「天満宮雑費明細帳」を公開 26年間の記録」
10月19日 北日本新聞「上水道整備 先人しのぶ／ウォーキングイベント 木津地区など巡る」
10月21日 北日本新聞「本願寺から加賀藩への書状発見／「勝興寺を頼みます」／3者の関係性裏付け／高岡市立博物館分析」
10月26日 北日本新聞「古文書の読み方熱心に」
10月27日 北日本新聞「二上山麓の諏訪社／江戸時代の棟札発見／前田家との関係伝える」
10月28日 富山新聞「建造年、前田家「武運長久」願う文字／江戸後期の棟札あった／高岡・上二上諏訪社／射水神社の歴史解明」

10月30日 富山新聞「求む高岡西高の記録誌／外部講師、卒業生 閉校前に収集／欠号確認「空白の足跡」残す」
 10月30日 北日本新聞「来春閉校 高岡西高／欠号の校誌 探しています／同窓会員らに呼び掛け」
 11月 5日 北陸中日新聞「高岡・成美小校下 歩いて歴史を理解／市立博物館に親しむ会」
 11月10日 北日本新聞「童謡「夕日」高岡の誇り／室崎琴月 生誕130年／記念展で歩み紹介／ぎんぎんざらざら像 衣替え 冬はかほか」
 11月10日 毎日新聞「ぎんぎんざらざら♪歌われ100年 再評価の機運／市博で展示 初公開資料も／童謡「夕日」を作曲 高岡出身・室崎琴月」
 11月16日 富山新聞「松村謙三の思い継承を／福光出身 没後50年フォーラム／高峰博士ゆかり 松楓殿「移設は成功」／河野氏が視察」
 11月16日 北日本新聞「立派に移築」／河野氏が松楓殿視察」
 11月16日 北陸中日新聞「松楓の間「圧倒される」／河野さん視察「博士の偉業 再認識できる場」」
 11月19日 富山新聞「廻船問屋 品目すみ分け／高岡・伏木の北前船交易／利害対立避ける？ 堀田家は米、八坂家は綿／市立博物館 取引証文「仕切書」を調査」
 11月20日 北日本新聞「北前船交易 証文を紹介／市立博物館 堀田・八坂家の「仕切書」」
 11月24日 富山新聞「室崎琴月の資料展示」
 11月29日 北日本新聞「記者ブログ／西部本社 牧野 陽子／古文書から伝わる事」
 11月30日 富山新聞「北前船交易の一端 示す古文書に関心／高岡市立博物館」
 11月30日 読売新聞「北前船交易 文書でたどる／高岡で展示／明治期の売買証明書22点公開」
 12月20日 北日本新聞「回顧2021／史壇 木本 秀樹／成政・立山信仰研究進む／学生左翼運動の記録発見」
 12月22日 富山新聞「高峰博士の功績 生徒や市民学ぶ／志貴野高で講座」
 12月24日 北日本新聞「郷土の名力士知って／柳澤さん 浮世絵 市に寄贈／幕末の大関 階ヶ嶽(高岡 戸出出身)」
 12月24日 富山新聞「地域ニュース／戸出の大関 功績を後世に／階ヶ嶽の浮世絵、市に寄贈」
 12月25日 富山新聞「加賀藩2代藩主利長が3代藩主利常(幼少期に病気)気遣う書状／高岡市立博物館が調査 医師宛てか／「最善の方法で完治を」」
 12月25日 北日本新聞「腹痛患う跡継ぎ案じる／医者宛て 完治要請／高岡市立博物館調査 利長の書状 新たに発見」
 12月26日 読売新聞「前田利長の書状発見／高岡市立博物館 弟の病を気遣う」
 12月26日 北陸中日新聞「利長 病の利常気遣う書状／6～8歳時の虫気 回復向かい「満足」／高岡市立博物館が鑑定」
 12月28日 北日本新聞「高峰讓吉の功績 講師招き学ぶ／志貴野高 郷土史授業」

〔令和4年〕

1月 3日 富山新聞「たかおかで感動・発見／公共財団法人高岡市民文化振興事業団」
 1月 4日 北日本新聞「高岡の歴史を楽しく学ぼう！／高岡市立博物館」
 1月10日 北日本新聞「ミュージアム干支コレクションアワード／高岡の宝エントリー／鍛鉄地竹虎文 金銀象嵌鏝／市立博物館が魅力PR」
 1月16日 富山新聞「地域の歴史 村御印で関心を／高岡市立博物館で初の展示／22日から、収集品」
 1月21日 北日本新聞「加賀藩の「村御印」紹介／市立博物館 あすから展示 石高や年貢率記す」
 1月22日 富山新聞「ほたるいか」(高岡市福岡歴史民俗資料館の古文書講座)
 1月22日 北日本新聞「風車」(高岡市福岡歴史民俗資料館の古文書講座)
 1月22日 読売新聞「年貢記載「村御印」寄贈を／高岡市立博物館 歴史研究へ呼びかけ／利常 加賀藩全村に交付」
 1月23日 富山新聞「地元の歴史、暮らし示す村御印を展示／高岡市立博物館」
 1月25日 富山新聞「天神様奉納きょうまで／高岡・射水神社 ミニ人形、梅の枝贈呈」
 1月25日 北日本新聞「使われない天神様奉納／射水神社 きょうまで受け付け」
 1月25日 読売新聞「古文書読み方 学芸員に学ぶ／高岡」
 1月25日 北日本新聞「ネット投票 現在7位／市立博物館収蔵 江戸中期 虎の彫金／干支アワード」
 1月28日 北日本新聞「加賀藩交付の年貢割付状「村御印」6点展示／市立博物館」
 2月 3日 富山新聞「番付表やすごろく並べ／高岡市立博物館 5日から館藏品展」
 2月 4日 北日本新聞「見立番付2点初公開／市立博物館 あすから館藏品展」
 2月 5日 北日本新聞「合格願い 天神様焼納／射水神社」
 2月 5日 富山新聞「天神様焼き 合格祈願／高岡・射水神社」
 2月 5日 富山新聞「記者①⑤ 漫画家 藤子不二雄①の記者時代／当時の人々⑥／鍋島社長の来歴 雑誌発行、映画も撮る／アイデアと行動力」
 2月 6日 富山新聞「明治から昭和の生活伝える 道具60点並べ／高岡・博物館館藏品展」
 2月13日 富山新聞「村御印など9点寄贈／高岡 境自治会、市立博物館に」
 2月16日 富山新聞「銅器、漆器の歴史に理解／高岡・京都外語大講義」
 2月16日 北日本新聞「加賀藩の村御印 寄贈／境自治会／古文書含め市博物館に」
 2月22日 富山新聞「記者①⑥ 漫画家 藤子不二雄②の記者時代／当時の水見・高岡②／心の名所 桜馬場、ご当地ソングに／「高岡小唄」の1番目」
 2月24日 富山新聞「記者①⑦ 漫画家 藤子不二雄③の記者時代／当時の水見・高岡③／桜馬場の記憶 歴史も風情もある名所／始まりは「開町の祖」」
 2月24日 富山新聞「鋳物と漆器の歴史を学ぶ／高岡伝産青年会」
 2月25日 富山新聞「記者①⑧ 漫画家 藤子不二雄④の記者時代／当時の水見・高岡④／作詞者の秘密 名部島春の正体は？／越中新聞の仕掛け人」
 2月26日 富山新聞「記者①⑨ 漫画家 藤子不二雄⑤の記者時代／当時の水見・高岡⑤／高岡の華 昔の七夕は「すごかった」／観衆で橋の欄干倒壊」
 2月27日 北日本新聞「中の島 花見名所復活へ／来月 桜植え替え開始／高岡古城公園百年会議」
 2月27日 富山新聞「記者①⑩ 漫画家 藤子不二雄⑥の記者時代／当時の水見・高岡⑥／街のシンボル 進化する高岡大仏／「後光」は1958年設置」
 2月28日 富山新聞「記者①⑪ 漫画家 藤子不二雄⑦の記者時代／当時の水見・高岡⑦／かつての名物「桜あんころ」の物語／父子相伝で継承」
 3月17日 富山新聞「記者①⑫ 漫画家 藤子不二雄⑧の記者時代／当時の水見・高岡⑧／高岡産業博 古城公園に「ダム」出現／電源県・富山を発信」
 3月19日 北日本新聞「背景を創る<上>／雲の魅力／柔らかなさが生む迫力／アニメーション美術の創造者 新・山本二三展 きょうから高岡市美術館」
 3月15日 読売新聞「かつての町並み すごろくで紹介／高岡市立博物館」
 3月17日 富山新聞「美術商 林忠正の若き姿伝え／家族宛書簡など本に 元高岡市立中央図書館長ら」
 3月17日 北日本新聞「林忠正の手紙翻刻／高岡出身の美術商 青年期の胸の内／地元元図書館長ら 研究活用願う」
 3月24日 北日本新聞「天地人(林忠正の手紙翻刻について)」
 3月26日 富山新聞「記者①⑬ 漫画家 藤子不二雄⑨の記者時代／当時の青春⑨／集客力抜群! 大入り満員 高岡の歌舞伎座／仕掛人の真骨頂」
 3月29日 読売新聞「林忠正の書簡翻刻 出版／高岡出身の美術商／交友関係知る資料／家族あて 情報の重要性訴え」

Ⅲ 施設の状況

1 沿革

- 昭和44年(1969) 市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館(昭和26年築)に隣接して建設することを決定。
- 8月 建設設計を完了。
- 10月 建設工事を着工。
- 45年(1970) 3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
- 6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
開館。
- 8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱(12人)。
- 46年(1971) 2月 博物館法(昭和26年法律第285号)第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
- 10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
- 平成6年(1994) 4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟(現本館)として財産登録。
高岡市立博物館条例を一部改正。
- 8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置(以後平成10年1月まで6回会議)。
- 8年(1996) 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
- 10年(1998) 2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
- 12年(2000) 新館1階収蔵庫改修工事の実施。
- 14年(2002) 7月 ホームページを公開。
- 18年(2006) 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
- 19年(2007) 7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
- 11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置(以後平成21年度まで継続)。
- 20年(2008) 11月 常設展リニューアル以後の入館者3万人を達成。
- 22年(2010) 2月 高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 デジタルアーカイブ推進事業を開始(～平成25年3月)。
- 23年(2011) 本館収蔵庫改修工事の実施。
- 10月 『二上射水神社文書目録』を編集。
- 24年(2012) 4月 指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
- 10月 「収蔵資料検索システム－あなたの家が博物館－」の運用開始。
- 25年(2013) 3月 高岡市立博物館に親しむ会設立。
- 4月 佐渡家資料調査事業を開始。
常設展示室に「お宝コーナー」開設。
- 6月 常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
- 27年(2015) 3月 『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
- 4月 高岡古文書ボランティア部会(親しむ会)設立。
- 28年(2016) 5月 本館入口付近の壁面等落下のため、本館正面玄関を閉鎖。
- 12月 本館正面玄関修繕工事の実施。
- 29年(2017) 6月 国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の国指定重要指定に向けた当館収蔵鋳物資料の調査開始。
- 9月 本館屋根瓦葺き替え工事の実施。
- 10月 本館天井張り替え工事の実施。
- 30年(2018) 10月 博物館サテライトギャラリーの開設(於・高岡テクノドーム)。
- 31年(2019) 3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足5周年を迎える。

- 令和元年(2019) 11月 博物館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開を開始。
- 令和2年(2020) 4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(4/18～5/17)。
 6月 高岡市立博物館開館50周年を迎える。
 8月 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」を開催(8/1～10/11)。
- 3年(2021) 8月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(8/18～9/12)。

2 施設概要

所在地	富山県高岡市古城1番5号
敷地面積	1,298.6㎡
建築面積	1,214.91㎡
建築延面積	1,905.21㎡
開館	昭和45年6月1日
構造	鉄筋コンクリート造一部木造平屋建て(本館・事務棟) 鉄筋コンクリート造3階建て(新館)

〔本館〕

エントランスホールB	81.00㎡
第1常設展示室	243.00㎡
第2常設展示室	145.80㎡
休憩室	35.64㎡

〔新館1階〕

収蔵庫A	48.50㎡
第1企画展示室	97.20㎡

〔新館2階〕

第2企画展示室	145.80㎡
第3企画展示室	51.84㎡

〔新館3階〕

講堂	145.80㎡
収蔵庫C	64.80㎡
展示用具倉庫	17.70㎡

〔事務棟〕

収蔵庫B	48.50㎡
館長室	49.50㎡
事務室	27.50㎡

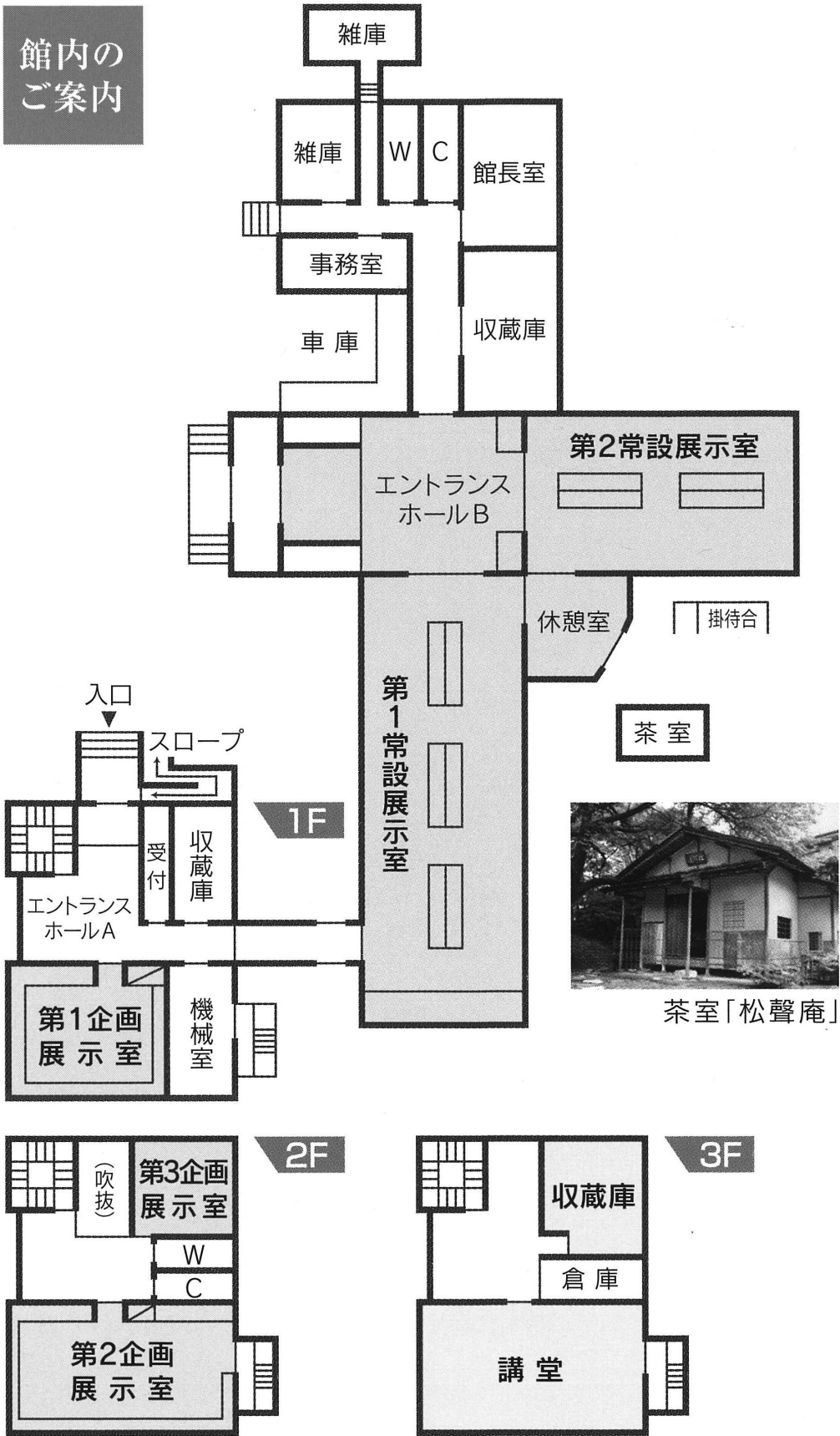
〔茶室〕

九畳本勝手下座床・水屋付き	29.48㎡
腰掛待合 三畳半	11.08㎡



博物館前景

館内のご案内



茶室「松聲庵」

3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
②休館日 月曜日（ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館）
年末年始（12月29日～1月3日）

③入館料 無料

④施設利用料（税抜）

〔企画展示室〕一日につき	第1企画展示室	3,000円
	第2企画展示室	4,500円
	第3企画展示室	1,500円

〔茶室〕一日につき 4,000円

⑤交通

〔JR新高岡駅より〕・南口バス乗り場（1番または2番）で加越能バス「高岡駅」方面に乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分

・徒歩約15分（高岡駅前より北東約1km）

〔自動車〕

・能越自動車道 高岡ICから約20分

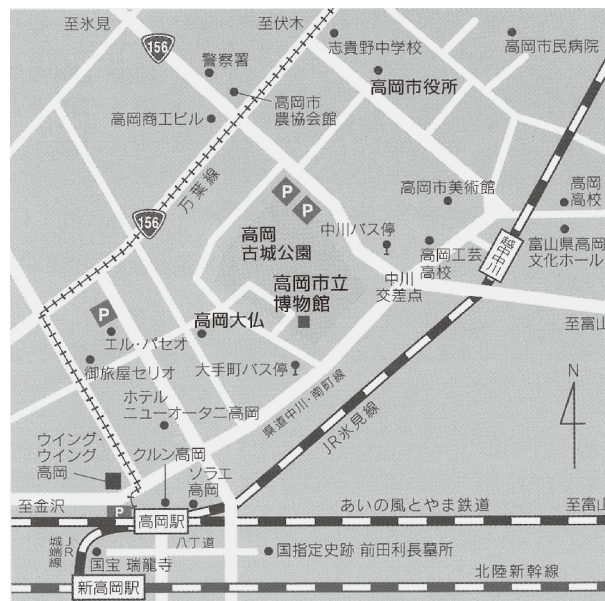
高岡北ICから約25分

・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分

小杉ICから約30分

砺波ICから約30分

〔周辺略図〕



高岡市立博物館年報 第36号

令和3年度

発行日	令和5年2月24日
編集・発行	高岡市立博物館 〒933-0044 富山県高岡市古城1-5 TEL : 0766-20-1572 FAX : 0766-20-1570 URL : https://www.e-tmm.info/
印刷	キクラ印刷株式会社